

競技審判上の注意

競技上の注意

1. 本大会は平成 26 年度公益財団法人日本バドミントン協会競技規則及び大会運営規程並びに公認審判員規程に基づき、厳正に競技を運営します。
2. 選手は会場に到着次第、選手受付（2階ホール）で受付を済ませてください。
3. 選手は試合のコール後、直ちに所定のコートに入ってください。コール後、10分を経過してもコートインしない場合は、競技委員長と協議の上、棄権扱いとなりますので、ご注意ください。コートは固定でなく、空いたコートから順に試合を行います。
4. 試合前の練習は2分間とします。
5. 試合が連続する場合は、原則として15分の空き時間を設け次の試合を行います。
6. シャトルは、検定合格品を使用します。
7. 開会式終了後、直ちに競技を開始します。
8. 各種目とも、3位決定戦を行います。
9. 各種目毎に、競技終了後に三位までの入賞者表彰を行います。なお、閉会式はおこないません。

審判上の注意

1. 本大会は平成 26 年度公益財団法人日本バドミントン協会競技規則及び大会運営規程並びに公認審判員規程により厳正に競技を運営します。
2. すべての種目を 21 ポイント 3 ゲームのラリーポイント制で行います。
3. 競技規則の第 9 条（サービス）、第 13 条（フォルト）、第 16 条（プレーの継続、不品行な振舞い、罰則）については、厳正に判定し、処置します。
4. インプレー中、会場の付属物にシャトルがふれた場合はフォルトとします。
5. 各サイドにコーチ席を用意します。
6. 試合の着衣は、公益財団法人日本バドミントン協会審査合格品（大会運営規程第 23 条）とし、背面には都県名（縦 15cm×横 30cm 程度）を明示してください。
7. 審判員に対して疑問のある場合は当該プレイヤーに限り質問することが認められます。但し、抗議あるいは異論にならないよう注意してください。（大会運営規程第 36 条）
8. 主審は埼玉県バドミントン協会審判員で行いますが、線審の一部は敗者選手にお願いします。